



トップページ > 唐津もんだより

景 観光

旬 食・宿泊

愉 イベント

感 歴史

匠 唐津焼・特産品

トップページへ

唐津もんだより

★バックナンバー★

※平成20年4月より行政支所の電話番号が変更になっておりますので、バックナンバーの問い合わせ先にはご注意ください。

第83号	第89号	第88号	第87号	第86号	第85号	第84号
第76号	第75号	第74号	第73号	第72号	第71号	第70号

平成26年3月7日

■第89号■

発行：一般社団法人唐津観光協会



棚田一帯を黄色く染め上げた菜の花の中を歩く、相知町蕨野の棚田
「菜の花ハイクと屋台村」

佐賀県唐津観光協会が発行するニュースレター「唐津もんだより」第89号です。
唐津のイベント・観光情報をお届けします。

【INDEX】

特集1:新米“唐津人”に聞きました「友達が来たら連れて行きたい唐津」

- 唐津駅周辺のお菓子めぐり「手みやげにしたいお菓子」
- 豪華絢爛な14台の曳山が市内を巡行する、唐津神社の秋の大祭「唐津くんち」
- 人々の生活がうまく“自然”に溶け込んだ、里浜の原風景「大浦の棚田」

特集2:歩こう唐津 春の山海ウォーク&疲れた身体に美味しい甘い和菓子(お土産)

- 唐津の名所“虹の松原”や“見帰りの滝”などを巡る
「第4回 唐津・虹の松原ツーデーウォーク」
～ 太閤秀吉に献上されたといわれる、唐津銘菓「松原おこし」
- なごやの歴史を歩いて楽しむ「第13回名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク」
～ 鎮西町波戸地区で長寿と厄よけを願い古くから伝わる団子「いのち長だご」
- 菜の花が咲く相知町蕨野棚田を歩き、美味しい地元グルメが楽しめる
「菜の花ハイクと屋台村」
～ 昔ながらの製法で作られる、地元相知ならではの羊羹「藤田羊羹本舗」

見所・イベント予告

■買って・食べて・当てよう！「呼子朝市ふれあいフェスタ」開催

■視界約270°の遮るもののない素晴らしいパノラマビュー
鏡山の山頂に展望テラスが完成します。

■ATAだより

・～ 春の唐津んツアー ～

■唐ワンくん日誌(54)

～ 唐ワンくん ～

・3月の唐ワンくんおすすめ情報

～ ゴスペルコンサート&唐ワンくんが見た石巻 ～

唐津よもやま話

■唐津ゆるゆる探検 第四回

・飛んできたのは姫なのか岩なのか 秀吉の茶会で披露したかった珍説

■ふるさとの文化財巡り(17)

うどのせきぶつぐん
・佐賀県史跡「鵜殿石仏群」

特集1:新米“唐津人”に聞きました「友達が来たら連れて行きたい唐津」

■唐津駅周辺のお菓子めぐり「手みやげにしたいお菓子」



大木さんが「材料から丁寧に作られているお菓子に安心感を覚えた」と語る「島田菓子舗」のお菓子

平成25年8月より唐津での生活をはじめられた「大木那奈子さん」は、神崎市のご出身です。現在は七山から、唐津市街地まで通勤をされています。

昨年唐津くんちでは、十数年ぶりに見る曳山の迫力と50万人もの人が唐津を訪れ祭りを楽しむ姿を見て、今では唐津くんちを心待ちにしながら唐津に暮らす楽しみもできたそうです。

甘いものには目がないと話す大木さんが、お勧めしたいというお気に入りの場所は「唐津駅周辺のお菓子めぐり」です。唐津駅の周辺には、昔ながらのお菓子屋さんから、色とりどりのスイーツが並ぶ洋菓子店まで、散策を楽しみながら徒歩で行ける範囲に様々なお菓子屋さんがあります。観光客が訪れる街ならではの「唐津」にちなんだお菓子も数多くあるため、美味しいことはもちろん、見た目もインパクトがあったり、ここでしか買えないようなお菓子を見ることが楽しいという大木さん。ふと入った、昔ながらのお菓子屋さん「島田菓子舗」さんでは、「毎日すべてのお菓子を家族で1個ずつ手作りをしているので大量には作れないが、材料もなるべく唐津産のいいものにこだわり餡からすべて手作りをしている」という話を聞いて、自分用のおやつとしても買いやすい値段で、材料から丁寧に作られているお菓子に安心感を覚えたそうです。

また、女の子を出産した友人に、唐津の海を彷彿させる貝殻の形をした、開花堂の干菓子「さよ姫」を送ったところ「また買ってきてほしい」と大変喜ばれたそうで「目を楽ませてくれる色や形をしていたり、包装や名前からも唐津の風土を感じられるようなお菓子を手みやげに友達に会いに行く楽しみができた」ということです。



ひとつひとつ手作業で仕上げる、「島田菓子舗」の唐津銘菓「六萬石」



唐津駅周辺は、散歩するにちょうどよい範囲に商店街もあり、美味しいお菓子屋さんが点在しています。

昔ながらのお菓子屋さん
「島田菓子舗」

《島田菓子舗》

【場所】唐津市平野町1594-1

【お問合せ】TEL:0955-72-2966

《開花堂》

【場所】唐津市本町1889-2

【お問合せ】TEL:0955-72-5750

【URL】<http://www.people-i.ne.jp/~kaikadou/>



唐津の海を彷彿させる貝殻の形をした干菓子「開花堂」の「さよ姫」



唐津に越してきてからお菓子屋を覗きにいくことが増えたという「大木那奈子さん」



■ 豪華絢爛な14台の曳山が市内を巡行する、唐津神社の秋の大祭「唐津くんち」



豪華絢爛な14台の曳山が市内を巡行する、唐津神社の秋の大祭
「唐津くんち」
毎年11月2～4日に開催される



歌丸さんが初めて「唐津くんち」をご覧になった、11月2日の「宵ヤマ」

平成21年4月より唐津での生活をはじめられた「歌丸悠さん」は、福岡県筑紫郡のご出身で、唐津市相知町にある「佐賀ロイヤルゴルフクラブ」にフロントマネージャーとしてお勤めされ

ています。

福岡市でお生まれになりご家族の転勤で東京や長崎など様々な土地で生活され、現在は「唐津ゴルフ協会」の事務局も務める歌丸さんは、仕事を通じて「唐津の人達は、郷土愛や結束力が強く、地域のつながりを大切にされている」ということを強く感じられるそうです。そんな歌丸さんが、佐賀県外や唐津市外の方々に、ぜひ案内したい行事は、毎年11月2～4日に開催される唐津神社の秋の大祭「唐津くんち」です。

仕事柄、休日に開催されるイベントをなかなか見に行くことができない歌丸さんですが、昨年初めて11月2日の「宵ヤマ」に行かれ、「唐津くんち」をご覧になったそうです。

最初は「保育園での遊びの中で、唐津くんちに興味を持ちはじめた、4歳になる子供のために」との思いで足を運んだ「唐津くんち」でしたが、「予想以上の迫力に圧倒された。豪華絢爛な14台の曳山の造形も素晴らしい。転勤先の各地で多くの“祭り”を見てきたが、他とは違った熱気を感じることができ、ここでも唐津の人達の持つ、郷土愛や結束力の強さを感じた。」とのことでした。

14台の曳山が展示・保管されている「曳山展示場」も、歌丸さんがおすすめする唐津の観光スポットの一つです。

また、昨年の夏、栃木県でお勤めされていた頃のお客様から相談があり、西の浜海水浴場で開催される「九州花火大会」に合わせたプランをご提案されたそうです。

唐津城のバックに打ち上がる花火を見たお客様から「こんな素晴らしい花火は、初めて見た」とのお言葉をいただき、唐津の素晴らしさを再確認されたそうです。



14台の曳山が展示・保管されている「曳山展示場」



西の浜海水浴場で開催される「九州花火大会」では、唐津城のバックに打ち上がる花火を見物することができる

《唐津くんち》

【開催日】11月2日～4日

【時間】2日 宵ヤマ 19:30～22:00

3日 御旅所御神幸 9:30～16:30

4日 町廻り 10:00～17:30

【場所】唐津神社(唐津市南城内3-13)周辺

《曳山展示場》

【所在地】唐津市西城内6-33

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】・11月3日、4日(唐津くんち巡幸のため)

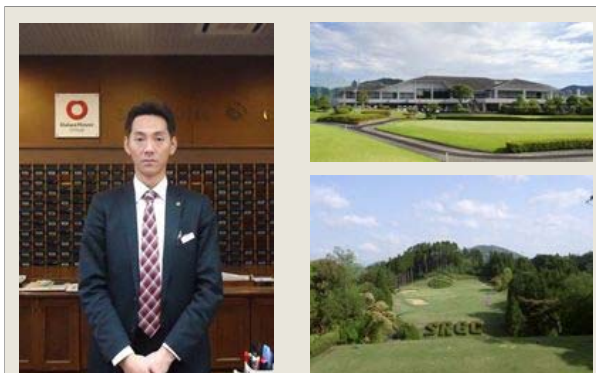
・12月第1火・水曜日

・12月29日から12月31日まで

【入場料】大人(15歳以上)300円

小人(4歳～14歳)150円

<20名以上は団体割引(2割引)>



平成21年4月より唐津での生活をはじめられた福岡県筑紫郡出身で「唐津ロイヤルゴルフクラブ」にお勤めの「歌丸悠さん」

《唐津ロイヤルゴルフクラブ》

【住所】唐津市相知町相知2548-1

【お問合せ】TEL:0955-62-2070

【URL】http://www.daiwaroyalgolf.jp/saga_gc/index.asp



■ 人々の生活がうまく“自然”に溶け込んだ、里浜の原風景「大浦の棚田」



人々の生活がうまく“自然”に溶け込んだ、
里浜の原風景「大浦の棚田」



「近代的な建物があってもあまり目立たず、雄大な自然景観が損なわれていない」と感じるそうです。

平成24年4月より唐津での生活をはじめられた「鐘ヶ江滉一さん」は、姫路市のご出身です。唐津市にある父の実家から、佐賀市にある大学に通学されています。

唐津には、幼少のころより何度も来られており「海水浴のイメージが強かった」というのですが、生活してみると「海山に囲まれたコンパクトで暮らしやすいまち」ということを感じるそうです。

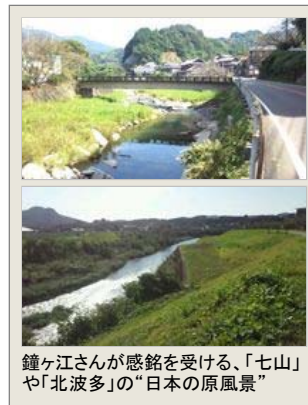
自転車でのツーリングがご趣味の鐘ヶ江さんは、唐津各地を自転車で走り、唐津の自然を満喫されているそうです。

そんな鐘ヶ江さんが、同年代の友達が唐津に来たら、ぜひ連れ行きたいスポットは、肥前町にある「大浦の棚田」です。

四季折々の表情を見せる「大浦の棚田」は、「日本の棚田百選」に選定されており、伊万里湾に浮かぶ大小の島々が作り出す景勝「玄海国定公園いろは島」を望む絶景の場所にあります。

鐘ヶ江さんがこの場所を気に入っている理由は、人々の生活がうまく“自然”に溶け込んでおり、里浜の原風景が保たれているということです。棚田周辺についても「近代的な建物があってもあまり目立たず、雄大な自然景観が損なわれていない」と感じるそうです。

鐘ヶ江さんは、その他にも「七山」や「北波多」方面のツーリングも楽しまれているそうで、やはりそれら場所でも、「大切に守られている“日本の原風景”に感銘を受ける」ということです。



鐘ヶ江さんが感銘を受ける、「七山」や「北波多」の“日本の原風景”

《大浦の棚田》

【場所】唐津市肥前町大浦岡

【お問合せ】唐津市役所肥前支所

産業課 観光文化スポーツ係

TEL:0955-53-7145



平成24年4月より唐津での生活をはじめられた姫路市出身の大学生「鐘ヶ江滉一さん」



特集2:歩こう唐津 春の山海ウォーク&疲れた身体に美味しい甘い和菓子(お土産)

■唐津の名所“虹の松原”や“見帰りの滝”などを巡る
「第4回 唐津・虹の松原ツーデーウォーク」

～ 太閤秀吉に献上されたといわれる、唐津銘菓『松原おこし』

「第4回 唐津・虹の松原ツデーウォーク」が平成26年3月22日(土)・23日(日)に開催されます。

「美しい日本の歩きたくなる道500選」にも選定されている“虹の松原”をはじめ、観光のシンボル“唐津城”や万葉口マンあふれる佐用姫伝説ゆかりの地などを巡る大変魅力あるウォーキングイベントです。

本大会は、“国際・日本市民スポーツ連盟認定大会”、“九州マーチング公式大会”、“オールジャパンウォーキングカップ認定大会”となっております。5kmコースから40kmまでのコースが設定されていますので、参加される皆様の目的や体力に合わせてコースを選択できます。

この機会に春の唐津を満喫できる「第4回 唐津・虹の原ツデーウォーク」に参加されてみてはいかがでしょうか。

「第4回 唐津・虹の松原ツデーウォーク」で歩く、魅力ある観光スポットをご紹介します。

●400年間、人々に守り続けられた『虹の松原』

虹の松原は、約400年前に、初代唐津藩主である寺沢志摩守が防風防潮林のため、海岸線の砂丘にクロマツを植林したのが始まりとされています。今では、約100万本もの松が生い茂り、約4.5キロの松原を形成しています。特に、鏡山からの眺めは絶景です。

青い海と白い砂浜、緑の松が織りなすロケーションは、何度見ても美しく、「日本一の松原！」と自負せずにはられないのです。

そして、この自慢の白砂青松の美しい虹の松原を守り育てるために、約150の団体、家族やグループなど約5千人が、一定区間を受け持つ、松葉かきや除草作業といった再生保全活動をボランティアで行っています。そうした活動によって守られている虹の松原、人々の息吹も感じながらゆっくり歩いていただきたいものです。



●美しい場所といえば、忘れてはならないのが『見帰りの滝』

振り返るのではなく、もう一度見るために、その場所に立ち帰りたくなるほど美しいから、「見帰りの滝」です。男滝と女滝からなり、「日本の滝百選」にも選ばれています。

あじさいや、秋の紅葉の季節も美しいのですが、春は、河津桜が咲き誇ります。桜の花びらが舞い散る中、マイナスイオンをたっぷり浴びながら美しい見帰りの滝をお楽しみください。



【日時】平成26年3月22日(土)23日(日)

【会場】松浦川運動公園
唐津市鏡3035-3(JR東唐津駅近く)

【コース】3月22日(土)
見帰りの滝と唐津城をたずねるみち
・40km 6:30受付 7:30スタート
・20km 8:00受付 9:00スタート
・10km 8:30受付 9:30スタート
・5km 8:30受付 9:30スタート

3月23日(日)
鏡山と虹の松原をたずねるみち
・30km 7:00受付 8:00スタート
・20km 8:00受付 9:00スタート
・10km 8:30受付 9:30スタート
・5km 8:30受付 9:30スタート

【参加費】一般 2,000円(当日2,300円)
中高生 1,000円(当日1,100円)
小学生以下 無料
唐津市・玄海町(中学生以上)
500円(当日700円)
※ただし参加記念品はありません。

●せっかくウォーク《鎮西・呼子イカ海道に行く》

3/21(金・祝)



[詳細・・・\(PDF\)](#)

JR唐津駅北口集合・受付/10:30
出発/11:00

8kmコース 定員/40名
参加費/一般:4,000円(バス代・昼食代込)

【お問合せ】 一般社団法人 唐津観光協会
TEL:0955-74-3355

【主催】 唐津・虹の松原ツアーウォーク実行委員会

松原おこし

その昔、太閤秀吉に献上されたといわれる『松原おこし』。手作りで、昔ながらの素朴な製法で作られています。こくのある黒砂糖たっぷりの松原おこしは、甘党派にはたまらない一品です。松原おこしのパッケージは、昔から変わらず台形型です。あれ？どこかでみた形？ そう、虹の松原から見える『鏡山』をかたどっているのです。



《麻生本家》

【住所】 唐津市鏡虹の松原4115-5

JR虹の松原駅より徒歩10分。虹の松原の中にあります。

【TEL】 0955-72-3482

【FAX】 0955-72-3488

[facebook](#)



■なごやの歴史を歩いて楽しむ「第13回名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク」

～ 鎮西町波戸地区で長寿と厄よけを願い古くから伝わる団子「いのち長だご」



今年で13回目を迎える「名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク」が3月30日(日)に開催されます。今回は、昨年12月15日にオープンした「九州オルレ唐津コース」を含む4つのコースが設定されていますので、目的や体力に合わせてコースを選択することができます。

10人程度のグループで、地元案内人から説明受けながら、ゆっくりと歴史を楽しむ「肥前名護屋城さるき」は、約3kmのコースを歩きます。名護屋城跡案内ガイドと名護屋城博物館学芸員の説明を受けながら回る「史跡探訪」は、約5kmのコースを歩きます。

諸大名の陣跡などを巡りながら波戸岬の風を感じ、名護屋城跡でさくらを楽しむ「名護屋城跡周辺～波戸岬のウォーキング」は、約10kmのコースを歩きます。

コース上のリボンや矢印をたどり、自然の道を五感で感じながら自分のペースでゆっくりと散策を楽しむ「九州オルレ唐津コース」は、11.2kmのコースを歩きます。

ゴール地点の「道の駅桃山天下市」では、「地元の特産品抽選会」や、特産品が無料で振る舞われる「ただで食べん祭」が行われます。

【日時】 平成26年3月30日(日)

8:30 受付開始

9:30 出発

【集合場所】 唐津市役所 鎮西支所

【募集人員】 ①肥前名護屋城さるき

約3kmコース(募集30名)

②史跡探訪

約5kmコース(募集100名)

③名護屋城跡周辺～波戸岬のウォーキング

約10kmコース(募集100名)

④九州オルレ唐津

11.2kmコース(募集100名)

※各コース募集人数になり次第

受付終了となります。



[詳細…\(PDF\)](#)

【参加費】 中学生以上 1,000円(保険・昼食代含み)
小学生以下 500円(保険・昼食代含み)

【お問合せ】 唐津観光協会 鎮西支所
TEL:0955-51-1052

「道の駅桃山天下市」では、唐津市鎮西町波戸地区で長寿と厄よけを願い古くから伝わる団子「いのち長だご」が販売されています。この「いのち長だご」は、文禄・慶長の役の時代から波戸地区で食べていたと伝えられ、薩摩藩の島津氏が陣を構えたことからサツマイモを練り込むようになったとも言われます。祝宴の際、もてなしのお土産として作られてきました。サツマイモを練り込んだ長い団子にあんこをまぶした素朴な味です。



「いのち長だご」
1パック(5個入り) 380円

《販売場所:道の駅 桃山天下市》

【住所】唐津市鎮西町名護屋1859

【TEL】0955-51-1051



■菜の花が咲く相知町蕨野棚田を歩き、美味しい地元グルメが楽しめる

「菜の花ハイクと屋台村」

～ 昔ながらの製法で作られる、地元相知ならではの羊羹「藤田羊羹本舗」



棚田では初めて国の重要文化財的景観に選定された相知町蕨野棚田で「菜の花ハイクと屋台村」が開催されます。

満開の菜の花が棚田一帯を黄色一色に染め上げ、山の緑と黄色い菜の花が織り成す景観は大きな感動を与えてくれます。棚田一面の黄色い菜の花じゅうたんと澄んだ空気の中をハイキングして、ゴールの蕨野交流広場に設けられた屋台村では、棚田米のおにぎりや田舎やきそば、うどん、イノシシ焼肉などの食事を楽しめます。棚田米などが当たるお楽しみ抽選会も開催されます。

豊かな自然の中爽やかな汗を流し、美味しい地元グルメが楽しめる「菜の花ハイクと屋台村」に是非、参加されてみてはいかがでしょうか。

【とき】平成26年3月30日(日)

【ところ】唐津市相知町相知平山甲946番地1

【スケジュール】 受付 10:00～10:30
開会式・スタート 10:30～
ゴール・昼食 12:00～13:30
お楽しみ抽選会 13:00～

【集合場所】蕨野棚田交流広場
(蕨野野の棚田入口)

【駐車場】蕨野集落周辺
(係員が案内します)

【参加費】小学生以上 1,000円

【申込期限】平成26年3月20日(木)
(ただし、定員400名になり次第、締め切ります。また、当日申込みの受付は行いません。)

【申込方法】電話・FAX・E-mail

【参加費のお支払い方法】



[詳細…\(PDF\)](#)

当日、受付テントにて参加費をお支払い下さい。

【お申込・お問合せ】 唐津市相知町相知2055-1
唐津市相知支所 産業課内
棚田と菜の花実行委員会
TEL:0955-53-7125(直通)
FAX:0955-62-2573
E-mail: ouchi-sangyou@city.karatsu.lg.jp

あじさいの町、相知町にある「藤田羊羹本舗」では、昔ながらの製法で作られた羊羹のほか、唐津産の茶葉を使った「からつ茶羊羹」などが製造・販売されています。今回は地元相知ならではの羊羹をご紹介します。小城羊羹をベースに相知特産の「すだち」の果皮と果汁を練り込んだ「すだち羊羹」、あずきの粒が入った羊羹「作礼山」、抹茶羊羹「八幡岳」など相知の地名に知なんだ羊羹があり、地元のお土産にお勧めの一品です。その他にも、表面は、固くざっくり、中はしっとりとした食べやすいサイズの5本入りミニ羊羹などもありますので、お茶うけやお土産に是非、いかがでしょうか。



《藤田羊羹本舗》

【住所】唐津市相知町相知1528-7

【TEL】0955-62-2726

【定休日】日曜日



見所・イベント予告

■買って・食べて・当てよう！「呼子朝市ふれあいフェスタ」開催



「呼子朝市ふれあいフェスタ」は、ふれあいの原点「朝市」を通じて、人と人がふれあうことの楽しさを感じてもらえるイベントです。

朝市で購入したものをその場で焼いて食べられる「獲りたて朝市バーベキュー」や、プロの料理人の方に魚のさばき方を教えてもらえる「魚さばき方教室」、島で採れた物産品を販売する「七つの島の物産展」などの催しが行われ、「ブルーリバーお笑いライブ」や「ケンサキじゃんけん」がイベントを盛り上げます。

会場では、抽選券付きの「お買い物券」が販売されており、1等には佐賀牛、特等にはペア宿泊券など豪華賞品が当たります。

お買い物をして、美味しいもの食べて、笑って、豪華賞品をゲットしませんか？！

日頃とは一味違った形で呼子朝市が楽しめるはずですよ。

【イベント内容】

- ・朝市朝食の無料提供（8:00～なくなり次第終了）
- ・獲りたて朝市バーベキュー（8:00～12:00）
- ・魚さばき方教室（8:00～12:00）
- ・お買い物抽選会（8:00～12:00）
※なくなり次第終了になります。
- ・七つの島物産展（9:00～12:00）
- ・ブルーリバーお笑いライブ
（1回目 9:30～ 2回目 11:30～）
- ・ケンサキじゃんけん



(1回目 9:40～ 2回目 11:40～)

※小学生以下対象

※イベントスケジュールは時間が多少前後する場合があります。ご了承ください。

【日時】平成26年3月23日(日) 8:00～12:00(朝市は7:30～12:00)

【開催場所】唐津市呼子町 呼子朝市通り一帯

【お問合せ】呼子朝市ふれあいフェスタ実行委員会(NPOスクラム呼子 内)

TEL:0955-82-0678



■視界約270°の遮るものない素晴らしいパノラマビュー
鏡山の山頂に展望テラスが完成します



完成した展望テラス



満開のツツジ園(平成25年5月 撮影)

平成22年度から改修工事を行っている唐津市の「鏡山園地」は、唐津市街や虹の松原、遠くは玄界灘まで眺望できる観光スポットとして年間推計約70万人のお客様にご来場いただいています。

今春、リニューアル工事の目玉施設として、園地西側の鏡山展望台に展望テラスが完成するので、下記の期日よりお客様に使用していただくことができるようになりました。

これまでの展望場所からテラスを12m前方にせり出したことで、視界約270°の遮るものない素晴らしいパノラマビューを楽しんでいただけます。

桜の開花時期に加え5月には約1万本のツツジが咲き乱れ、大変見ごたえのある公園になっています。みなさん是非お越しください。

【利用開始日】平成26年3月8日(土)

【施設の概要】標高約290m

展望テラス

鋼製ウッドデッキ 120㎡

高さ7m 長さ12m 幅 10m

【説明】・展望テラスの転落防止柵は、眺望用の透明ガラス製です。

・展望テラスをはじめ、園内の歩道などをバリアフリーとしたため、車椅子で散策することができるようになりました。

・パーキングパーミットをお持ちの方は、園内に表示している

2カ所8台分の専用駐車スペースを御利用下さい。



拡大…(JPG)



■ATAだより

～春の唐津んツアー～

唐津よかばい旅倶楽部では、春を楽しむツアーを色々実施します。

【ツアー】

★伝統工芸 唐津焼

唐津焼の発祥の地で、現存するものとして日本最古の

窯跡をめぐり、窯元にて絵付け体験します。

【旅行日程】平成26年3月24日(月)

【旅行代金】おひとり様 6,000円(税込)

【最少催行人数】20名

【ツアー】

★試食弾丸スイーツツアー

唐津のスイーツを満喫しませんか。

甘くおいしいツアーです。

【旅行日程】平成26年3月20日(木)

【旅行代金】おひとり様 3,000円(税込)

【最少催行人数】20名



[詳細…\(PDF\)](#)

【ツアー】

★九州オルレ 唐津ミニコース

甘夏ゼリーと和菓子作り体験と九州オルレ 唐津コースを歩いて楽しみませんか。

九州オルレ 唐津コースは初心者用のミニコースとなっております。

【旅行日程】平成26年3月21日(金・祝)

【旅行代金】おひとり様 5,000円(税込)

【最少催行人数】20名

上記以外にもツアーがあります。唐津の春を感じてみてはいかがでしょうか。

【お問合せ】一般社団法人唐津観光協会 ATA事業部
(唐津よかばい旅倶楽部)

TEL:0955-74-3611

FAX:0955-74-3612

URL:<http://www.yokabai-tabiclub.jp>



■唐ワンくん日誌(54)

～唐ワンくん～

よい子のみなさん こんにちはワン！！

春の訪れを感じる季節になりました。ぽかぽかの陽気になんとかワクワクしますね。

2月の行事と言えば、節分に、バレンタインに、受験シーズンですね。唐ワンくんは全部やりました。

唐津市呼子町の名物のイカにちなんだ問題などが100問出題されるご当地検定「第8回唐津呼子イカ検定」が行われました。5年連続で唐ワンくんは今年も受験しました。過去に100点満点合格をしたこともある唐ワンくんは、今回はイカ検定試験の中でも、最上級難度のイカマスター試験に挑戦しました。合格すれば呼子朝市通りのイカ検定モニュメントに名前が刻まれます。手応えありの自己採点、合格発表が楽しみです。

毎年たくさんの方からバレンタインチョコをいただいております。今年も全国各地から唐ワンくん宛に本命チョコが、トラック1台分届きました。溢れる想いを綴ったラブレターや激励のお手紙などもいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



イカ検定を受験する唐ワンくん



本命チョコに囲まれご満悦

今後のスケジュールやイベント情報は「唐ワンくんのブログ」で絶賛公開中

→ <http://ameblo.jp/karawankun/>

●3月の唐ワンくんおすすめ情報

～ゴスペルコンサート&唐ワンくんが見た石巻～

唐ワンくんは、昨年9月に宮城県石巻市を訪問しました。東日本大震災から3年が経過しよ

うとしていますが、まだ復興に向け道半ばでした。震災を忘れず、自分たちに何ができるかを考えるきっかけになればと思い、今回のイベントを行います。
3月15日(土)に旧唐津銀行で10時30分からの第1部では唐ワンくんが石巻で感じことを報告させていただきます。13時からの第2部では福岡で活躍中のゴスペルグループ「プレジャーシップ」による、ゴスペルライブ&ワークショップを行います。1部2部とも入場無料となっておりますのでお気軽にお越しください。

【イベント名】石巻支援チャリティーイベント「ゴスペルコンサート」

【場所】唐津市本町1513 旧唐津銀行1F多目的ホール

【日程】3月15日(土)

1部 10:30~12:00 「唐ワンくんの見た石巻」

2部 13:00~15:00 「ゴスペルコンサート&ワークショップ」

【詳しくは】サークルすみれ会

電話 080-1737-2343

Mail kosodate.sumire@gmail.com



[拡大・・・\(JPG\)](#)

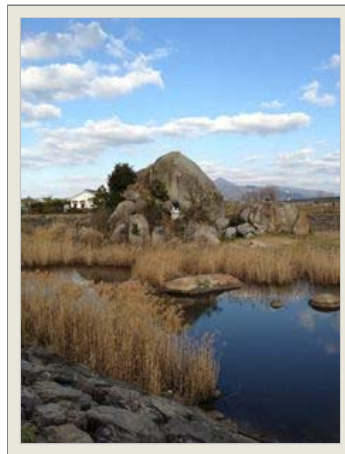
昨年9月に石巻市へ訪問し、石巻の子ども達と交流を行う唐ワンくん



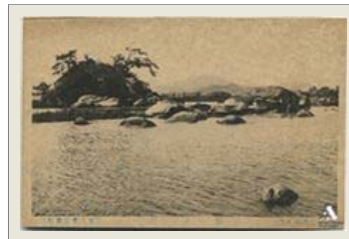
唐津よもやま話

■唐津ゆるゆる探検 第四回

飛んできたのは姫なのか岩なのか 秀吉の茶会で披露したかった珍説



子ども時代、意外と行くことがなかったのが唐津の名勝でした。この佐用姫岩も筑肥線の電車の中から見かけるくらいです。ところが、近くまで足を伸ばしてみると悪くない。昔の写真を見てみると松浦川の外にあります。いつのまにか堰の内側に囲われていましたが、それでもなかなかの景色です。



右の図は伊能忠敬の描いた地図。ここには松浦岩と書かれています。佐用姫岩という呼び名は明治以降の観光を意識した改称だったようです。

唐津は唐や韓国(からくに)のほど近くにあ

り古代より大陸に向かうための最後の港であったため海外と中央政府との関わりのある話がいくつも残されています。松浦佐用姫のお話もそのひとつといえます。

537年、新羅から侵略されていた百濟、任那を救援するためにこの地を訪れた大伴狭手彦は、軍船の建造といった準備のためしばらく唐津にとどまっていた。狭手彦は篠原長者の館に滞在していましたが、この家の長女・松浦佐用姫と恋仲になり、夫婦の契りを結びます。



しかし、ついには出征の日となり、別れの日が訪れます。狭手彦の乗った船は松浦の港を出港していき、佐用姫は鏡山から領巾を振って見送りました。このため鏡山は別名、領巾振山(ひれふりやま)と呼ばれています。領巾を振るといふふるまいには魂を招くという意味がありました。万葉の昔には恋のときにも死の別れにも袖や領巾を振ったものでした。別れのつらさに耐えかねた佐用姫は鏡山から飛びおりてしまいます。最初に着地したのがこの佐用姫岩でした。

しかし、あの台形の山から飛び降りてここに着地するのはかなり難しそう。隣で夫が「鏡山は火山だったらいいからね。飛んできたのは佐用姫じゃなくて、佐用姫岩だったんじゃないの。その話が佐用姫伝説と混ざってしまったとか」などと突っ込みを入れてきました。ロマン吹き飛ぶ珍説から佐用姫に戻しましょう。



佐用姫の嘆きは深く七日七晩泣き明かした後には石になったといわれています。後に狭手彦が帰ってきたときには佐用姫は亡くなっていました。この悲恋のお話は後にいくつもの歌に詠まれ、能楽の題材にもなっています。万葉集ではこんなふうには詠まれています。

遠つ人松浦佐用比賣
夫恋いに領巾振りしより
負へる山の名

大伴旅人

実は大伴旅人の曾祖母(ひいおばあさん)であるいく子は、大伴狭手彦の姉でした。大宰府に赴任していた大伴旅人は曾祖母の弟の恋の話に憧れて唐津まで足を伸ばしたのでしょう。当時大宰府から唐津までは馬をとばせば七山を越えて日帰りできる距離という感覚であったようです。

玉島川のあたりで美女と出会った大伴旅人は

玉島のこの川上に家はあれどきみをやさしみあらわさずありき

などという歌も作っています。家はどこなのと尋ねられたけれど、立派なあなたの姿に恥ずかしくて名前を告げることではできなかったわ、と女の立場でうたっているのでしょうか。祖先の話に触発されて足を伸ばしてみたら佐用姫を思わせる美しい人が川のほとりにいたということかもしれません。

古代から景勝地として知られていたこの佐用姫岩。1600年ごろ、波多三河守親(はたみかわのかみちかし)は、このあたりに唐津茶屋を建てて豊臣秀吉を歓待しました。おそらくは現在話題のNHK大河ドラマの主人公・黒田官兵衛も唐津焼で茶の湯を愉しんでいたかもしれません。彼らもきっと佐用姫の話を知っていたことでしょう。秀吉もまたこの地で恋をしたようです。

ここは今隠れた花見スポットだそうです。JR和多田駅から十分弱。あなたも素敵な人を探しにどうぞこの地まで足を伸ばしてください。ただしくれぐれも泣かせないように。千年二千年の後にも伝説が残ってしまうかもしれませんからね。



■ふるさとの文化財巡り(17)

うどのせきぶつぐん
佐賀県史跡「鵜殿石仏群」



唐津市相知町にある鵜殿石仏群は、文禄3年(1594年)に記された『鵜殿山平等寺略縁起』^{うどのさんびょうどうじりやくえんぎ}によると、大同元年(806年)に空海(弘法大師)が唐(中国)での仏教修行を終え、遣唐使と共^{しやかによらい}に帰国の際にこの地に立ち寄り、釈迦如来・阿弥陀如来・観世音菩薩の三体の釈迦三尊^{あみだによらい かんぜおんぼさつ}を岩肌に刻んだのが始まりとしています。

しかし、現存する60数体の石仏の中に空海が生存していた平安期のものはなく、最古のもので14世紀の南北朝時代の石仏です。

鵜殿石仏群を代表するのが、南北朝時代に彫りこまれた「持国天」(東方を守護する仏)と「多門天」(北方を守護する仏)、そしてこの二天像に守られた「十一面観音坐像」^{じこくてん たもんてん}です。「十一面観音坐像」は、鵜殿石仏群の本尊ともいえるもので、本来の姿(左手に瓶を持ち、右手は手のひらを見せた形の与願印をつくっている)とは違い、二臂合唱両手を合わせて祈っている姿)をしています。

この二臂合唱の十一面観音は、12世紀の平安時代の終わりに彫りこまれた立石観音(市指定史跡・相知町)の「十一面観音立像」にも見られ、相知地方の独特な形として山岳佛教信仰に継承されていることがわかります。

鵜殿石仏群では、室町時代から江戸時代にかけて「薬師如来坐像」や「不動明王立像」^{やくしによらいざざう ぶどうみょうおうりゆうざう}などが彫りこまれ、平等寺や明王院といった寺院も建立されました。

かつては鵜殿山といわれた砂岩からなる岩山は、古来より多くの仏が存在する神秘的な山と考えられていたため、鵜殿山で仏教修行を行えば、より修行の修練度が向上できるといった信仰が行われてきたようです。



《鵜殿石仏群》

【住所】唐津市相知町天徳

【お問合せ】唐津市文化課

TEL:0955-72-9171

発行：一般社団法人唐津観光協会

〒847-0816 唐津市新興町2935-1 JR唐津駅内

電話番号:0955-74-3355 FAX番号:0955-74-3365

URL: <http://www.karatsu-kankou.jp/>

ページの上部へ↑